

人生を愉しく生きるには

梨本 昌子

【第15回】庭で樹木や花の手入れ、クリスマスカードは毎年自作の水彩画で

今回の号は新しいタイトルになって第15回目、1年3ヶ月経ちました。今回は、「仕事人間」と思われている私にも「こんな一面がある」という角度から、普通の日常生活の幾つかを披露します。

<庭で緑と戯れる喜び> 今住んでいるのは、ハワイカイにあるヨーロッパ風のタウンハウスですが、昔住んでいたハワイカイのゴルフ場に面したとても大きな家から引っ越す時の大きなポイントは、「庭」があることでした。幸い裏庭は手入れには理想的なサイズで白い垣根越しには山と繋がっていて、自然が溢れています。

ここに移る前から庭いじりが大好きであった私には、うってつけのガーデンで、ヤシの木が4、5本、パパイヤの木が2本、池もありましたが、移って数年後に京都の庭園の様にたく、岩を持って来たり、土と土の間に素朴な感じのタイルを交互に配置して、リビングルームから見ても「ステキ」と思える様に工夫を試みました。毎日やっていることは、水撒きで、この時、樹木や花

がどんな具合かチェックします(写真参照)。又、家の中で育てている鉢植えの植物の具合が悪くなって来ると庭に出して、太陽や水分補給をさせています。今、気になっているのは、パパイヤの種から育ち小さく細い苗木がすくすくと育ってくれているので、風や雨が強い時は、パラソルの下に移して保護しています。4個のパパイヤから自分を取り出した種を水で洗って乾かし、60個程の種が出ました。その内生き残って元気に育っているのは15本程ですが、毎日少しずつ大きくなっていくのを見ると「母親の気分」にもなるものですヨ。グリーンを育て、愉しむのが生活の一部になっていることで、私自身も元気をもらっています。ベランダでもいいから草木とお付き合いしたいらいかがですか？



<アレもコレも描きたい> 私は中学、高校時代から油やアクリルの絵を描いていましたが、水彩画に挑戦したのは15年程前からです。中でも一番難しいのは水彩画ですが、ジワジワと色と色が美しく滲み合った時は「ヤッター!」という喜びにつきますネ。又、スケッチを元に色を塗っていく訳ですが、スケッチ通りにいかず、少しはみ出したり、流れ出したりするのが水彩画の良い所でもあり、あまり1+1=2という風にカチッと出来ない私の性格にも合っている様です(笑)。描く対象は、ハワイの風景、花々、葉、海の生き物などが昔は多かったのですが、数年前から抽象画に凝る様にもなり、範囲がかなり広がって来ました。

抽象画には私自身の「想い」や「考え方」を反映させたのが好きで、例えば人間関係の大切さを描く時は「コネクション」と題し、線と線と繋ぐ様な絵を仕上げます。写真は、恒例のクリスマスカードを描いていますが、会社、個人用に毎年描き始めてからもう8年あまり。描いている時間中は、世の中の雑念から遠ざかり、気分が実にリフレッシュされるものです。



梨本 昌子 なしもと まさこ

東京都出身。早稲田大学文学部社会学科卒業後、PR業界で活躍。27歳で「ウォルター・トンプソン」にスカウトされ、同社PR部門を設立、部長に就任。その後、1982年にハワイへ移住。ハワイでPR/広告エージェンシー「ナシモト&アソシエイツ」を設立。世界のトップブランドをクライアントにもち、2006年リテール(小売)業界で知事賞という大賞を受賞。2015年にも再びハワイビジネスウーマン・トップ15に入賞。2015年11月ビジネス・リーダーシップ・ハワイ賞受賞。2016-2017年PBN紙の州内広告代理店11位にランクイン。

Eメール: nashi@nashimoto.com

